実務対応報告公開草案第 70 号「非化石価値の特定の購入取引における需要家の会計処理に関する当面の取扱い（案）」への意見

氏名：内藤千恵

質問１（実務上の取り扱いに関する質問）
同意します。
特に、定義があやふやなバーチャル PPA に関して、「３つの特徴を有するもの」を本件の範囲とするとし明確にしている点と需要家における取り扱いにターゲットを絞った点、大変シャープでわかりやすい。
結論である費用計上の時期についても JPEX のシステムで把握可能な時期とイコールと思われますので、実務面で余分な負担が無いと思います。

質問２（開示に関する質問）
同意します。
これもバランスがとれた結論と思います。
ご検討いただいたとおり、昨今の電気代の変動に比して環境価値の価格は大したものでは無いと思います。

質問４（現在検討されている制度変更の可能性に対する質問）
（１）（２）に同意します。

質問５（その他）
今回の草案は素晴らしかったのでコメントしてしまいました。
細かい制度変更が行われている分野で、いろいろなスキームが出てくる中、範囲を明確に絞ってコンパクトに結論を出していっていただけるのはありがたいことです。

以上